

治水、利水、環境 3本の柱で「命」と「財産」を守る

中国地方の人口や資産は、河川の氾濫区域に集中しており、洪水や土砂災害など自然災害から、地域の暮らしの安全・安心を守るための河川、ダム、砂防、海岸の整備や管理とともに、うるおいとやすらぎの空間を創出するための環境整備を通じ、「安全で安心して暮らせる地域づくり」と「美しく豊かな自然環境の保全」を目指します。

PICK
UP!

斐伊川放水路

島根県東部を流れる斐伊川。斐伊川・神戸川の沿川は古くから幾度も洪水被害に見舞われてきました。毎年のように発生する洪水は、神話に登場する大蛇のヤマタノオロチにたとえられ、恐れられていました。約25,000戸の浸水被害が生じた、昭和47年7月洪水を契機に斐伊川の治水対策が計画されました。

治水対策は、3つの事業柱から成り立っています。

- ① 上流の尾原ダム・志津見ダムの建設
- ② 中流の斐伊川放水路を建設
- ③ 下流の大橋川の築堤等の改修、中海・宍道湖の湖岸堤整備

写真の斐伊川放水路は、斐伊川の洪水の一部を神戸川に分流させ、斐伊川下流や宍道湖の水位上昇を抑え、氾濫を防止しています。工事は、平成6年から本格的に始まり、平成25年、延長13.1kmにわたる放水路が完成しました。

PICK
UP!

斐伊川放水路

壮大！地域を守るビックプロジェクト

技術(土木) 出雲河川事務所工務課 係長 今本 真也

私が約3年間携わった『斐伊川放水路分流堰の建設』は、計画から約40年、総事業費約2500億円のビックプロジェクト『斐伊川放水路事業』の最終段階で最大の構造物でした。1日も早い完成を目指す一方、施工現場では様々な問題が発生し、設計変更や地元の方々・関係機関等との調整に追われる日々が続きましたが、平成25年6月、無事に放水路の竣工を迎える事ができました。同年9月には、初めて洪水時に分流堰を運用し治水効果を発揮する

ことが出来、完成した『達成感』、大事業を終えた『充実感』を味わうことが出来ました。

また、地元の方から『洪水のたびに心配で、川まで様子を見に行っていたが、もうその心配が無くなった。安心して』という言葉を感じたときには、私の仕事によって『地域の安心・安全』を提供出来た事を実感しました。人の役に立つための大きな仕事を私達と一緒に進めてみませんか？



“暮らしを守る” 仕事です。

技術(土木) 太田川河川事務所 大芝出張所 係長 山本 真由美

河川の維持管理に携わる仕事をしています。河川管理施設の点検や工事の現場監督などが通常時の主な仕事です。

点検で、異常箇所が見つければ補修方法を検討したり、工事では設計通りに構造物が出来ているか確認したりしています。また、洪水時には水門操作を行い、水害の発生を防いでいます。出張所では、地域みなさんに接する機会が多くあり、この仕事地域に密着していると実感できます。

仕事を通じて、みなさんが安全で安心して生活できる基盤をつくっているということにやりがいを感じています。

みんなの大切な川を守るために

事務 岡山河川事務所 占用調整課 係員 安慶名 香代

河川は本来、皆が自由に使えるものですが、河川の土地や水を排他独占的に利用することは認められておらず許可が必要です。そういった土地の使用や水の利用、砂利の採取などを河川法という法律に照らして審査し許可をしています。また、技術的見地から審査をする事もあり、専門的な知識が必要になり大変ですが、技術系の職員と課を越えて連携する事により乗り越えています。さらに川によって慣習や状況も違いますので単に河川法にのっとるだけでは解決できない事も多く、課の皆で知恵を出し合って解決するなどチームワークも重要です。

時には現地を見に行く事もあり、河川行政事務に携わる事で沿川地域の安全を守る一役を担っていると実感します。



水門建設・管理



堤防点検



ダム建設・管理



河川環境教育

人と人、町と街 地域を繋ぐ生命線

地域振興や物流の効率化に欠かせない道路。広域的な高速ネットワークを構築する高規格道路整備や一般国道の整備、交通安全事業など、地域発展の基盤整備を進めるとともに、道路の維持管理を行います。また、既存インフラ施設の老朽化対策など時代に対応した整備を目指しています。

PICK
UP!

中国横断自動車道尾道松江線

広島県尾道市を起点に、広島県北部の三次市を経由して島根県松江市に至る延長約137kmの高速自動車国道。

尾道松江線は、瀬戸内海側と日本海側の地域を結ぶ幹線道路として輸送時間の短縮や沿線地域の産業・経済・文化の発展に重要な役割を果たします。さらに、山陽自動車道と中国縦貫自動車道の2本の縦貫道を結ぶことによる縦貫道の機能強化と災害時の代替路としての役割も担う、中国地方にとってはなくてはならない高速道路となります。地域と一丸となり工事を進め平成26年度全線開通しました。

PICK
UP!

中国横断自動車道尾道松江線

中国横断自動車道尾道松江線の建設に携わって

技術(土木) 福山河川国道事務所 調査設計第二課 専門官 山下 誠

私は中国横断自動車道尾道松江線の広島県三次市甲奴町内の工事監督に携わりました。尾道道は平成26年度全線開通に向けて、施工業者や地域関係者の方々と目標の達成に向かって邁進しました。

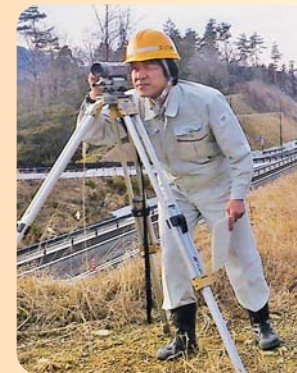
この仕事は地域の皆様の声を直に聞くことができ、その地域の方々の思いを肌で感じる事が出来る仕事です。時には難題に頭を抱えることもありますが、関係者と一丸となって少しでもその思いに報いることが出来ればと日々奮

闘しています。

現場の変化を目の当たりにすると、「開通ももうそこまで、もう一踏ん張り」と頑張れます。開通式を迎えたときの込みあげてくる感情は、そこに携わった人にしか得られません。

みなさんもそんな大きなことを成し遂げ後の達成感を味わいたいと思いませんか？

君たちの入省を待っています！



国道の安全はニッポンの安全!!

技術(土木) 広島国道事務所 管理第二課 係員 溝山 智樹

私の仕事は広島100万都市を支える、国道2号や54号などの道路の維持管理です。橋を直したり、舗装を直したり、水路を掃除したり、道路が凍らないようにしたり・・・とても幅広く、覚えることもたくさんあります。しかし、地域の安全に直結するとても重要な仕事だと思います。

普段使用している橋が落ちたり、突然道路に大きな石が落ちてきたりすると大変危険であり、社会的影響も計り知れません。そのような重要な仕事に携われていることをとてもうれしく感じており、やりがいを持って仕事をしています。

対話なくして用地なし、用地なくして事業なし

事務 本局用地部 用地企画課 係員 津田 良寛

用地で行う仕事は主に道路や堤防を作る為の土地取得に係る業務です。事務所では土地代金の計算や土地所有者への協議等を行っており、用地部では事務所の書類審査や指導をしています。

用地の仕事は住民の方との関わりが多く、事業に協力的な人も一筋縄ではいかない人もいます。ここが面白くもあり難しいところですが、協議が難航した人と契約した時や土地を買収した人から「道路ができて便利になった」といわれた時は達成感があり、頑張って良かったと思える仕事です。



交差点改良



歩道整備



道路建設



橋梁点検

地域の経済を支え世界と結ぶ「みなと」

地域の経済・基幹産業を支える「みなと」づくり

原材料の調達や製品の出荷において、効率的な海上輸送を実現することで、地域の経済や基幹産業を支える港。産業の国際競争力を強化するとともに、災害に強く、環境に優しい港湾を目指します。



広島港 完成自動車の輸出

自動車産業は、中国地方の地域経済を支える基幹産業です。完成した自動車は広島港で船に積み込まれ、世界各地に輸出されています。



水島港

臨港道路の整備



境 港

岸壁の整備

国際競争力のある「港湾」をつくってます

技術(土木) 宇野港湾事務所 沿岸防災調査官 大杉 晋作

私は、水島港で水島地区と玉島地区を繋ぐ全長約2.6kmの臨港道路を整備する事業の中で、橋梁建設現場の監督・調整を行っています。

現場では土質や潮流、周辺環境など状況は一つとして同じものはなく、発生する様々な技術的な問題に時には頭を抱えながらも施工業者の方や関係者の方と一体となって解決していきます。

そして、図面でしかなかったものが実際に出来上がっていく。橋脚が完成し、上部工が架かっていく・・・他では味わえない充実感があります。

今後長きに渡りこの地方を支えるインフラを造る、50年・100年後も地図に残る仕事。やりがいのある仕事です。



産業を支える海の路づくり

技術(土木) 広島港湾・空港整備事務所 工事安全管理官 北浦 直子

私は、広島港廿日市地区で、航路(船の通り道)を深くする事業に携わっています。廿日市地区は産業を支える大事なエネルギー「液化天然ガス(LNG)」の一大輸送拠点です。航路を深くすることで、世界標準の大型船でLNGを一度に大量に輸送して安価に供給できるようになり、産業の競争力強化につながります。

仕事では、工事による企業活動への支障を最小限に抑えることなど、いろいろな検討や調整をしています。悩みはつきませんが、上司に相談しながら前進中です。調整した結果、無事、工事が完成した時の達成感はやりがいにもつながります。

くらしを支える仕事です。一緒に働きましょう!

事務 本局総務部 人事課(港湾空港担当) 岡本 愛美

人事課で採用業務や人事異動に関する業務に携わっています。整備局の仕事は港や道路等のインフラ整備を行う職場ですが、職員をサポートする現在の仕事にやりがいを感じています。法律や規則等の知識も必要ですが、先輩や上司の方々の助けを頂きながら日々勉強しています。

身近には育児休業等の制度を利用して仕事と子育ての両立をされている先輩方もいらっしゃるの、女性も働きやすい職場環境だと実感しています。多くの人の役に立てる魅力的な職場で皆さんも私たちと一緒に働きませんか!



広島空港 人工地盤(電波高度計用地)

世界に開き、 広域交流を支える空港

安全で、利便性に優れた空港の整備を目標に、未来の航空運輸を支える総合的な空港機能の充実を推進していきます。



宇野港

賑わいのある「みなと」づくり



徳山下松港 人工干潟

豊かな海の保全・再生

まちづくり・すまいづくりを支える

中国地域の経済・社会の活性化や、個性豊かな地域社会の実現、都市の健全な発展と文化の向上を目指して、中国地方の歴史・文化・自然環境等の特性を活かし、活力と魅力あふれ、暮らす人にも、訪れる人にも快適な「まち」をつくっていくための様々なサポートを行っています。



歴史まちづくりの推進
(岡山県高梁市)

国営備北丘陵公園

多様化するレクリエーション需要に応え、豊かさを実感できる暮らしの実現に向け、国営公園の管理を行っています。



花のひろば



ウィンターイルミネーション

にぎわいのある故郷づくりを目指して

技術(土木) 本局建設部 都市・住宅整備課 係長 **高市 康寿**

中国地方の都市は、「災害」「少子高齢化」「中心部の空洞化」「インフラの老朽化」など様々な課題を抱えており、これらの課題へ対応した、にぎわいのある持続可能なまちづくりが求められています。

私はこれらに対応し、地域の個性豊かなまちづくりを目指す市町村のお手伝いをしています。まちづくりは、現状の課題解決だけではなく、今後何十年も先を見据えて行う重要な仕事であり、それだけに責任は重いのですが、とてもやりがいのある仕事です。自分の家族や子どもが安心して笑顔で暮らせるまちづくりに関われる仕事、素敵だと思いませんか？



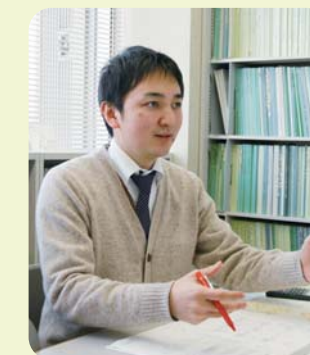
公共建築を先導する！

技術(建築) 本局営繕部 整備課 係員 **白木 徹**

法務省の総合庁舎の工事発注をしています。仕事は、工事発注を行うために、業務委託した設計事務所や施設の管理者・入居者と打合せを行い、完成させた設計を元に工事発注の手続きを行っています。

打合せでは、設計者の考えを聴いて実現するためのアドバイスをしたり、設計者に代わって入居者にプランの提案を行っていますし、特に2次元の図面を見て立体的な3次元をイメージすることが大切です。

公共建築の代表として、安全な建物をつくりたいと思っています！



市営住宅の更新
(広島県広島市)



歴史まちづくりの推進
(広島県竹原市)



駅前太平線バードハット
(鳥取県鳥取市)

営繕

日常生活に馴染みの深い、法務局・税務署・職業安定所(ハローワーク)等のたてものやそれらの官署を集約した合同庁舎、教育施設・文化施設・福祉施設など、多くの国の建物について、人と地球にやさしく安全な暮らしを支える施設整備を行うことを目指し、新築や改修の企画・設計から工事監理、さらには維持管理に関するアドバイスまでを一貫して行っています。



呉地方合同庁舎



岡山法務総合庁舎

災害から地域を守る ～私たちの使命～

平成26年8月豪雨により広島県広島市で甚大な被害が発生しました。また、今後、南海トラフ巨大地震による広域的な大規模災害の発生が懸念されています。中国地方整備局は、防災・減災に努めるとともに、災害が発生した場合には、初期段階の応急活動から復旧・復興における支援など、一連で対応を行っています。地域の皆さんの安全・安心な暮らしを確保することが、私達の使命です。



いざというときのお助け部隊！

技術(土木) 本局企画部 技術管理課 川西 里紗

平成26年8月の広島豪雨災害の時に、TEC-FORCEの隊員として、八木地区の現場へ派遣されました。道路班の土砂撤去を行っている現場で、撤去作業の現場確認に従事しました。被災された地元の方からの要望を受け、作業に反映させて、被災前の生活に少しでも近づけられるように作業を行うことが、主な活動でした。地元の方が1日でも早く元通りの生活に戻りたいと願っている中で、自分達が動かないと何も前進しません。改めて、TEC-FORCEの隊員として派遣される責任の大きさを感じました。



現場に応じた臨機応変な対応！

事務 本局総務部 人事課 大窪 ひとみ

私は、普段は職員の研修に関する業務を行っていますが、平成26年8月の広島豪雨災害でロジとして派遣されました。TEC-FORCEのなかでロジの役割というのは、隊員が、被災状況の把握や地方自治体の支援活動などに専念できるよう、サポートを行うことです。例えば食事、宿舎、健康管理や被災現場での安全管理、調査活動に必要な携行品(地形図、カメラなど)の確認、移動手段の確保、また、現場での調査活動の補助など多種多様です。隊全体の動きを把握して臨機応変にサポートすることが重要です。



安心・安全で地域へ貢献！

技術(電気) 本局企画部 防災課 係長 田邊 充宏

防災課では、災害の発生に備えて様々な情報の収集、災害対応に必要な体制の構築などの仕事をしています。私は、光ケーブルや無線を利用したネットワークを始め、予備電源や防災システム等の設計・発注を行った経験活かし、防災に係わる様々な仕事をしています。防災課の仕事は、いつ発生するか解らない災害に対して事前に準備し、日頃からの訓練の実施など多岐にわたります。災害から地域を守る、地域に安心・安全を確保する、人の役に立てる仕事。それが私の仕事です。



TEC-FORCE隊員としてのもう一つの顔

技術(機械) 本局企画部 施工企画課 係長 山口 正樹

普段は、公共工事の工事費を算出するための費用分析や公共工事への新技術の活用促進などの仕事をしていますが、災害が発生すると仕事内容は一変します。災害時には、TEC-FORCE隊員となって全国の被災地に駆けつけます。東日本大震災をはじめ、平成24年7月の九州北部豪雨でTEC-FORCEの応急対策班として派遣され、災害対策用機械の配置指揮を行いました。悲惨な状況を目の当たりにしますが、地元の方達の事を考えると一刻も早く復旧したい思いに駆られます。災害が発生しないことが一番ですが、もし発生した場合には少しでも早く駆けつけ、復旧することも私の仕事の一つです！



PICK UP!

TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊)

TEC-FORCEは、大規模な自然災害に際して被災状況の把握や被災した地方自治体の支援を行い、被災地の早期復旧のための技術的支援を迅速に実施します。TEC-FORCE隊員は、職員の中でも専門的な知識や現場経験などを有した災害対応エキスパートで構成されています。地方自治体などへの支援が必要となる大規模災害が発生したときは、即座にTEC-FORCEを派遣し、防災ヘリコプターや災害対策用車両(排水ポンプ車、照明車、衛星通信車など)の出動により、被害の拡大防止や被害状況の調査などの支援を行います。

● 近年の支援実績

平成21年7月	中国九州北部豪雨	山口県	40日間／延べ1,061名／照明車、排水ポンプ車	を派遣。応急組立橋梁を支援。
平成22年7月	庄原市豪雨	広島県	11日間／延べ69名／待機支援車を派遣。	
平成23年3月	東日本大震災	東北地方	88日間／延べ1,155名／照明車、排水ポンプ車、	衛星通信車、災害対策本部車等を派遣。
平成23年9月	台風12号	奈良県、和歌山県	28日間／延べ633名／照明車、排水ポンプ車を	派遣。応急組立橋梁を支援。
平成24年7月	九州北部豪雨	福岡県、大分県	7日間／延べ84名／照明車、排水ポンプ車を	遣。応急対策資材の支援。
平成25年7月	山口・島根豪雨	山口県、島根県	28日間／延べ920名／照明車、排水ポンプ車、衛	星通信車、災害対策本部車等を派遣。
平成25年8月	島根豪雨	島根県	15日間／延べ562名／照明車、排水ポンプ車を	派遣。
平成25年9月	台風18号	京都府、滋賀県	9日間／延べ202名／照明車、排水ポンプ車、待	機支援車を派遣。
平成26年8月	広島市豪雨	広島県	35日間／延べ2,432名／照明車、排水ポンプ車、	待機支援車を派遣。



H26.8 被災状況



H26.8 災害対策車の活躍



H26.8 被災状況



H26.8 災害対策本部